

東日本ユニオン大宮 ラ・マヒストラル

JR東日本労働組合
大宮地方本部
発行責任者:渡辺 純
2022年9月6日 No.42

大宮地方本部 第11回定期大会

私たち大宮地方本部は、8月27日に「さいたま市産業振興会館」において第11回定期大会を開催しました。

来賓として中央本部より生田書記長、足立情宣担当部長、大宮地本退職者連絡会より海老沼会長に駆けつけていただき、激励のあいさつを受けました。



あいさつに立った渡辺執行委員長は「コロナ関連」「ウクライナ情勢」「2022春闘・夏季手当の取り組み」「関東地本結成の意義」に触れ「2022年度年末手当の取り組みがはじまる。JR東日本の『第1四半期決算』は黒字であり、お盆輸送も昨年度比2倍であった。2022春闘・夏季手当の分を取り戻そう！」「今大会が大宮地本の最後の定期大会となる。関東地本へ団結していこう！」と組合員にさらなる奮起を呼びかけました。

質疑では「会社は赤字を口実に『社員の賃金・手当を抑え込んでいる』と、職場では若手社員から不満の声が出ている」「単身赴任で2重生活が強いられている。手当は距離で区分するのではなく、一律4万円に上げてほしい」など、職場実態や単身赴任で苦勞している実態が出されました。

質疑を受けて執行部は「私たちの第1の課題は組織拡大である。10月15日を節目に、力をあわせて実現していこう」「単身赴任手当の改善にむけて、中央本部は申第1号『各種施策に伴う労働条件・労働環境改善に関する申し入れ』を提出している。地方からの取り組みを通じて要求実現をめざしていく」と答弁しました。すべての議案を満場一致で承認し、最後に渡辺委員長による団結ガンバローを三唱して、新たな決意を打ち固めました。



大宮地方本部 「第12回臨時大会」の お知らせ

- とき 2022年10月15日(土)
11:00開会
 - 場所 さいたま市産業振興会館
- 全組合員参加でつくりだそう！